

校長室だより



長い夏休みが終わって、早くも一ヶ月が経とうとしています。9月の前半は夏休みより「暑い」日が続き、熱中症が心配される状況でした。先週から少しずつ朝夕がひんやり過ごしやすくなりました。

9月には千代小祭りがあり、6年生を中心にわくわく班（縦割り班）ごとの店を出して、みんなで楽しく過ごすことができました。どの店でも主体的に動いている人が多くいて、みんなのための行動できている人が多くて、見ていてとてもうれしくなりました。

みんなの思いや願いを考える

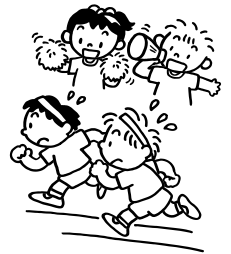
千代小祭りなどの行事では「主体的に動くこと」と合わせて「みんなの思いや願い」を実現することを大切にす気持ちを持ってほしいと思っています。5・6年生の代表委員がみんなのために考えたスローガンが「みんなでハッピーな千代小祭りにしよう」でした。みんなとは、千代田小学校にいる全員のことです。

高学年の子どもたちはわくわく班のみんなのために、楽しい店を計画し、準備をして臨みました。そのために担当の先生と何度か打ち合わせをしながら取り組みを進めてきました。その思いにこたえて低学年の子どもたちは当日の店番、班ごとの遊びの時間もみんなのことを考えて言うことを聞いたり、役割を果たしたりしていました。

もちろん、すべての人が満足したかということそうではないと思いますが、少なくともこのような意識や思いをもって取り組んでほしいと思っています。

この経験を運動会に活かす

みんなのために主体的に行動したこの経験をこれから取り組む運動会に向けての活動に活かしてほしいと思っています。運動会ではクラスや学年での取り組みが中心になります。学年の練習ではみんなで協力して一つの演技を作り上げてほしいです。もちろん高学年は運動会全体のことを考えて、開閉会式、応援合戦、係活動、対心リレーなどに取り組んでくれると思っています。また競技や競走では、「みんなで楽しく盛り上がる」ことを意識して取り組んでほしいと考えています。運動会の取り組みからクラスの友だちとつながり、学年の友だちともつながってほしいと思っています。



思いは子どもたちや教師だけじゃない

PTAの南会長が先日、熱い想いを語ってくれました。PTA競技をした！ということでした。PTA役員会と職員会議を経て、競技を行うことになりました。ここには南会長の「保護者として運動会を盛り上げたい」という熱い思いがありました。私は、とっても嬉しく思いました。運動会は子どもや教師だけのものではなく、保護者や地域の方々のためでもある！ということであらためて認識しました。そして、保護者のみなさんの中からも運動会を楽しみにしているという声も聞かせてもらっています。

みんなのためにある運動会。みんなの願いを叶える運動会にしていきたいです。